

令和7年度魚津市市民公開講座を 開催いたしました

令和8年2月15日（日）13時30分より、新川文化ホールにおいて、魚津市医師会主催、魚津市および当院共催、富山県後援による「令和7年度魚津市市民公開講座」を開催いたしました。

本年度は『もしも魚津市に大災害が起こったら ～災害対策と医療活動～』をテーマとしたシンポジウムを実施いたしました。シンポジウムでは、魚津市医師会副会長・松本眼科医院院長の松本真幸先生に座長をお務めいただきました。

はじめに当院整形外科部長・山上亨から「大災害時の医療について」と題し、東日本大震災での救護活動の経験を踏まえ、発災時に生じる医療崩壊の実態、救護所を中心とした医療体制、トリアージの運用などについて解説し、魚津市に大災害が発生した場合に想定される医療対応について講演いたしました。

続いて、当院感染管理者・感染管理認定看護師である高本恭子から「災害時の感染対策 ～あなたの行動が命を救う～」と題し、災害時には水不足や避難生活での密集により感染症が拡大しやすいことから、手洗い・咳エチケット・換気・口腔ケアなどの基本的な予防行動や、平時からの備えの重要性について講演いたしました。

また、当院薬剤部長・稲村勝志から「災害時に役立つ薬の鉄則 ～命を守る3つの鉄則～」として、お薬手帳の携帯、3～7日分の薬の備蓄、水の確保という三本柱を中心に、災害時の薬剤管理の心得について講演いたしました。

さらに、魚津市防災危機管理室副主幹係長・魚住和広氏より、「魚津市の避難所環境改善への取組」と題し、魚津市の地震被害想定を踏まえた指定避難所の整備、鍵管理の改善、分散備蓄、トイレ整備、居住環境の向上、要配慮者支援など、市としての具体的な取り組みについてご紹介いただきました。

当日は多くのご来場者より質問が寄せられ、時間の許す限り4名のシンポジストより回答が行われるなど、活発な意見交換が行われ、盛会のうちに終了いたしました。

また、会場内の展示ブースでは、実際に使用する仮設ベッドやトイレ、各種備蓄品が展示され、来場された魚津市民の皆様は、災害への備えについてより深くご理解いただく機会となりました。今回の市民公開講座を通して、日頃からの災害への備えについて、少しでも関心を深めていただければ幸いです。

